

東証プライム：証券コード3992

株式会社ニーズウェル

2022年9月期 第2四半期

決算説明資料

2022年5月12日



NeedsWell
Try & Innovation



1. 2022年9月期 第2四半期決算概況



2. 2022年9月期 業績予想



3. 事業の成長戦略



4. 参考資料

売上高2桁成長

業務提携による販路拡大やソリューション・ビジネス好調

売上高	前年同期比
3,253 百万円	+15.4 %

経常利益	前年同期比	経常利益率
374 百万円	+24.3 %	11.5 %

当期純利益	前年同期比	当期純利益率
259 百万円	+25.8 %	8.0 %

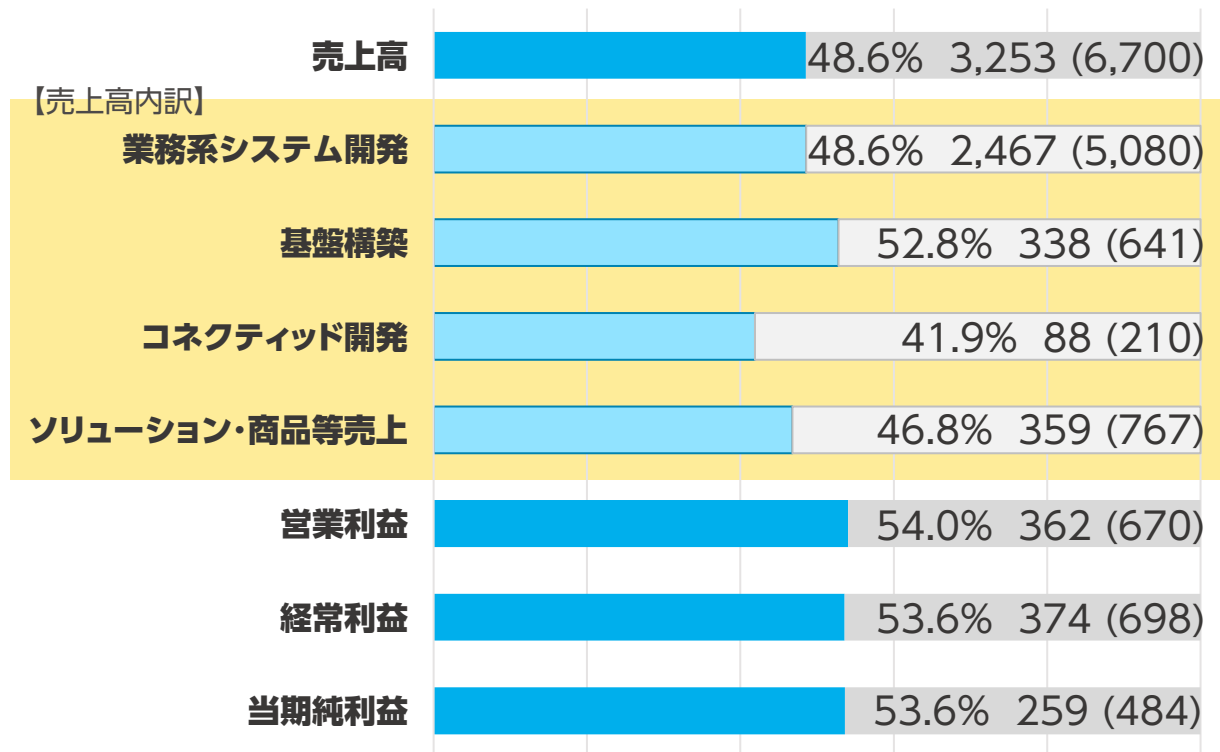
※ 当社は当事業年度の期首から収益認識基準を適用しています。
収益認識基準の適用の影響により売上高が20,045千円増加しております。売上総利益、営業利益、経常利益及び四半期純利益に与える影響はありません。

1.2) 業績進捗率

上方修正に対し **売上高48%、経常利益53%**

業務系システム開発 ソリューション・商品 生保・通信が好調、省庁向けを新規開拓
電子帳簿保存法改正・DX・テレワークにより好調

進捗率・2Q実績 ()は'22/9期計画 (単位:百万円)



※ 業績進捗率は2022年5月9日付「業績予想の上方修正のお知らせ」後の数値で算出しています。

業務系システム開発

保険向けや通信向け案件の拡大に加えて、省庁向け案件を新規に獲得。

基盤構築

業務系システム開発、ソリューション・商品等売上と連携したトータル受注の他、VDIやネットワーク機器の構築案件等が好調に推移。

コネクティッド開発

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、製造業向け案件が減少。

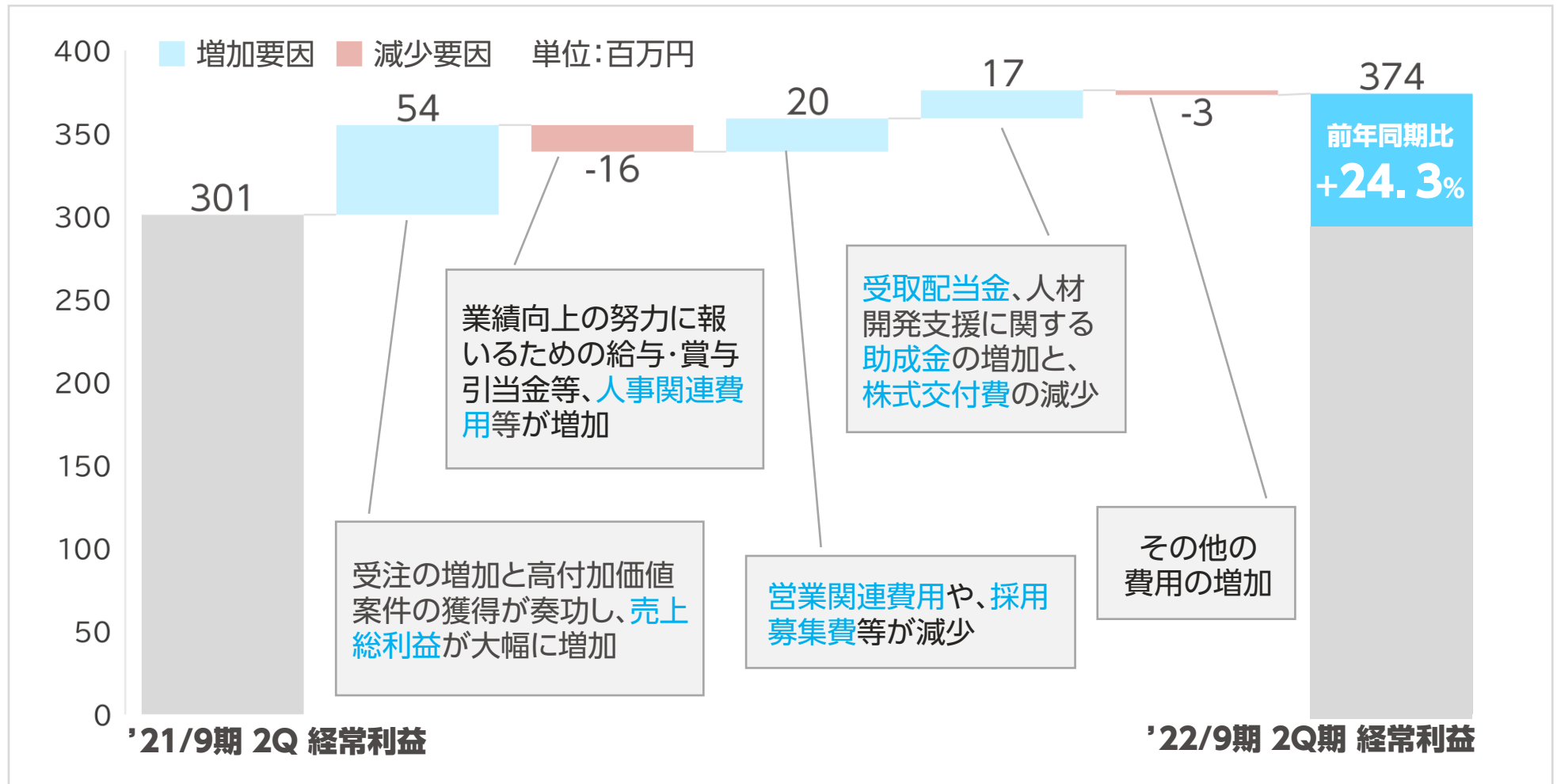
ソリューション・商品等売上

経費管理クラウド向けの独自ソリューション Speed EA、Invoice PAや、RPAが好調。企業のDXを支援するITリエンジニアリング、業種別AIソリューションWork Allに注力し、見積もりをAIで自動化する自社ソリューションEs Prophetterをリリース。

1.3) 経常利益(累計)増減要因分析

受注増と高付加価値案件獲得により

経常利益 前期比 **24.3%増** ↑



1.4) 損益計算書(累計)

經常利益率 **11.5%** (前年同期比**0.8pts**増)

単位:百万円	2021年9月期 2Q		2022年9月期 2Q		
	実績	売上比	実績	売上比	前年比
売上高	2,818	-	3,253	-	115.4%
業務系システム開発	2,156	76.5%	2,467	75.8%	114.4%
基盤構築	283	10.1%	338	10.4%	119.4%
コネクティッド開発	100	3.6%	88	2.7%	87.8%
ソリューション・商品等	278	9.9%	359	11.0%	129.1%
売上総利益	709	25.2%	764	23.5%	107.7%
販管費	403	14.3%	402	12.4%	99.9%
営業利益	306	10.9%	362	11.1%	118.0%
営業外収益	2	0.1%	12	0.4%	636.1%
営業外費用	7	0.3%	0	0.0%	9.8%
經常利益	301	10.7%	374	11.5%	124.3%
四半期純利益	206	7.3%	259	8.0%	125.8%

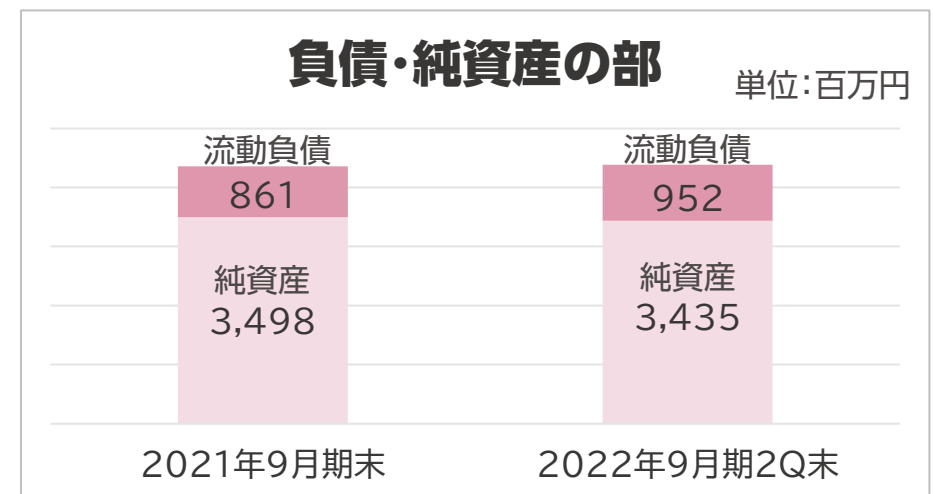
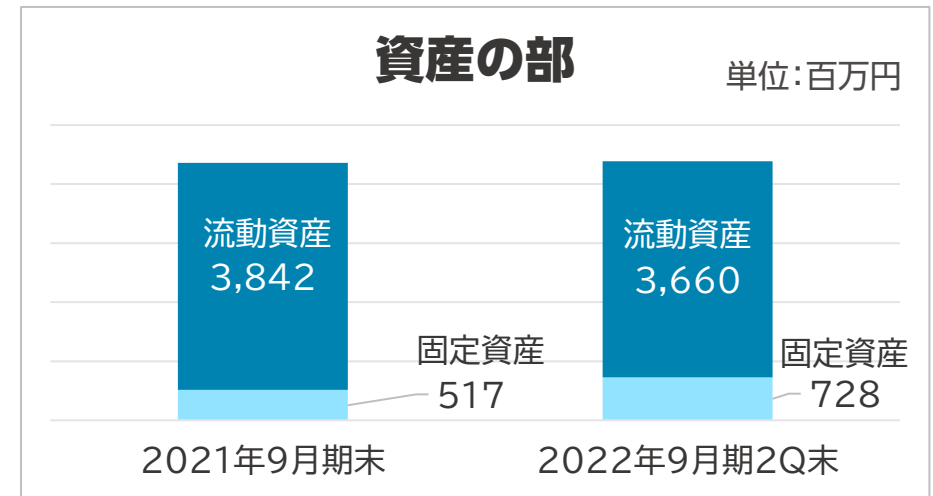


1.5) 貸借対照表

※主要科目のみ抜粋 単位:百万円	2021年9月期末	2022年9月期2Q末	
	実績	実績	前期末増減
現金及び預金	2,868	2,359	-509
売掛金	938	0	-938
売掛金及び契約資産	0	1,143	1,143
前払費用	25	41	16
その他	9	115	105
流動資産合計	3,842	3,660	-182
資産の部			
建物(純額)	31	30	-1
ソフトウェア	82	68	-14
ソフトウェア仮勘定	2	30	28
投資有価証券	114	266	151
関係会社株式	0	45	45
繰延税金資産	118	118	0
敷金・保証金	83	82	0
保険積立金	76	76	0
その他	7	8	0
固定資産合計	517	728	210
資産合計	4,360	4,388	28
負債の部			
買掛金	143	214	71
未払金	149	141	-8
未払法人税等	124	133	8
未払消費税	91	77	-14
預り金	41	40	-1
賞与引当金	302	338	36
その他	8	7	0
流動負債合計	861	952	91
固定負債合計	0	0	0
負債合計	861	952	91
資本の部			
資本金	907	908	0
資本準備金	763	764	0
利益剰余金	1,807	1,832	25
自己株式	0	-91	-91
その他有価証券評価差額金	20	21	1
純資産合計	3,498	3,435	-63
負債純資産合計	4,360	4,388	28

自己資本比率 **78.3%**

自己株式の取得により前年比▲1.9ptsとなったが、引き続き高水準で安定





1. 2022年9月期 第1四半期決算概況



2. 2022年9月期 業績予想



3. 事業の成長戦略

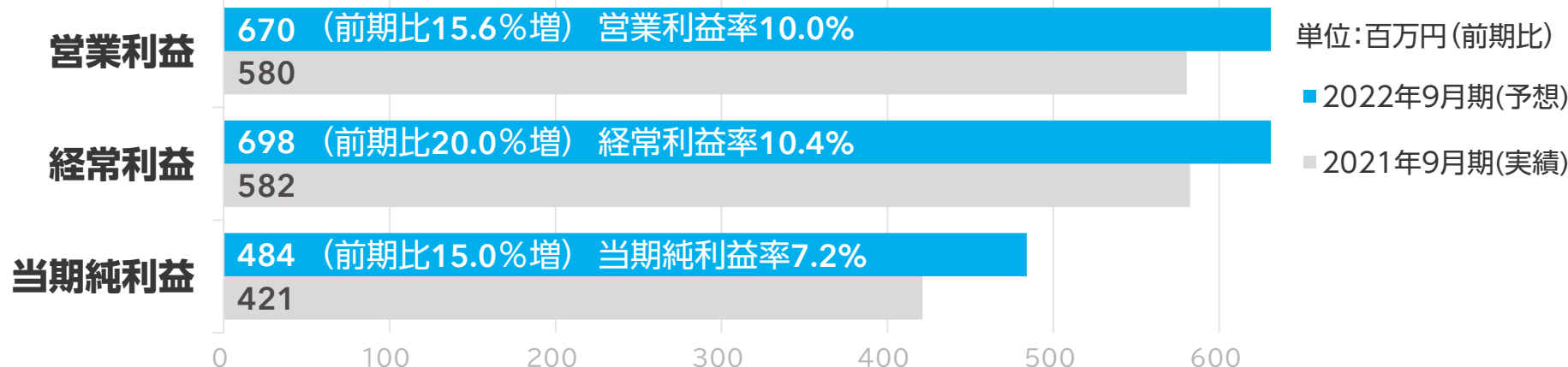
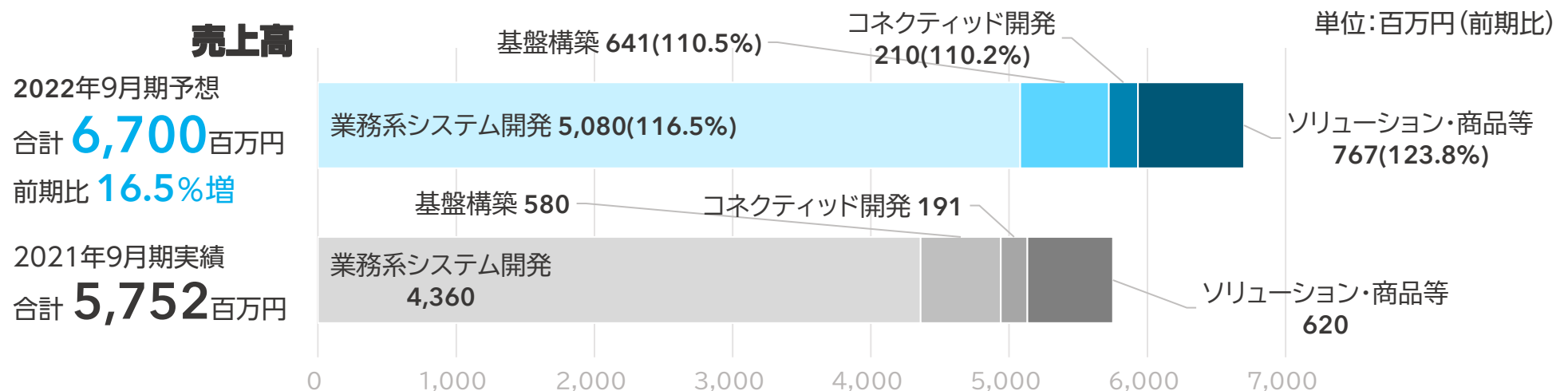


4. 参考資料

2.1) 2022年9月期 業績予想

資本業務提携の成果等により、今期2度目の業績の上方修正を実施

2期連続増収 & 11期連続増益予想

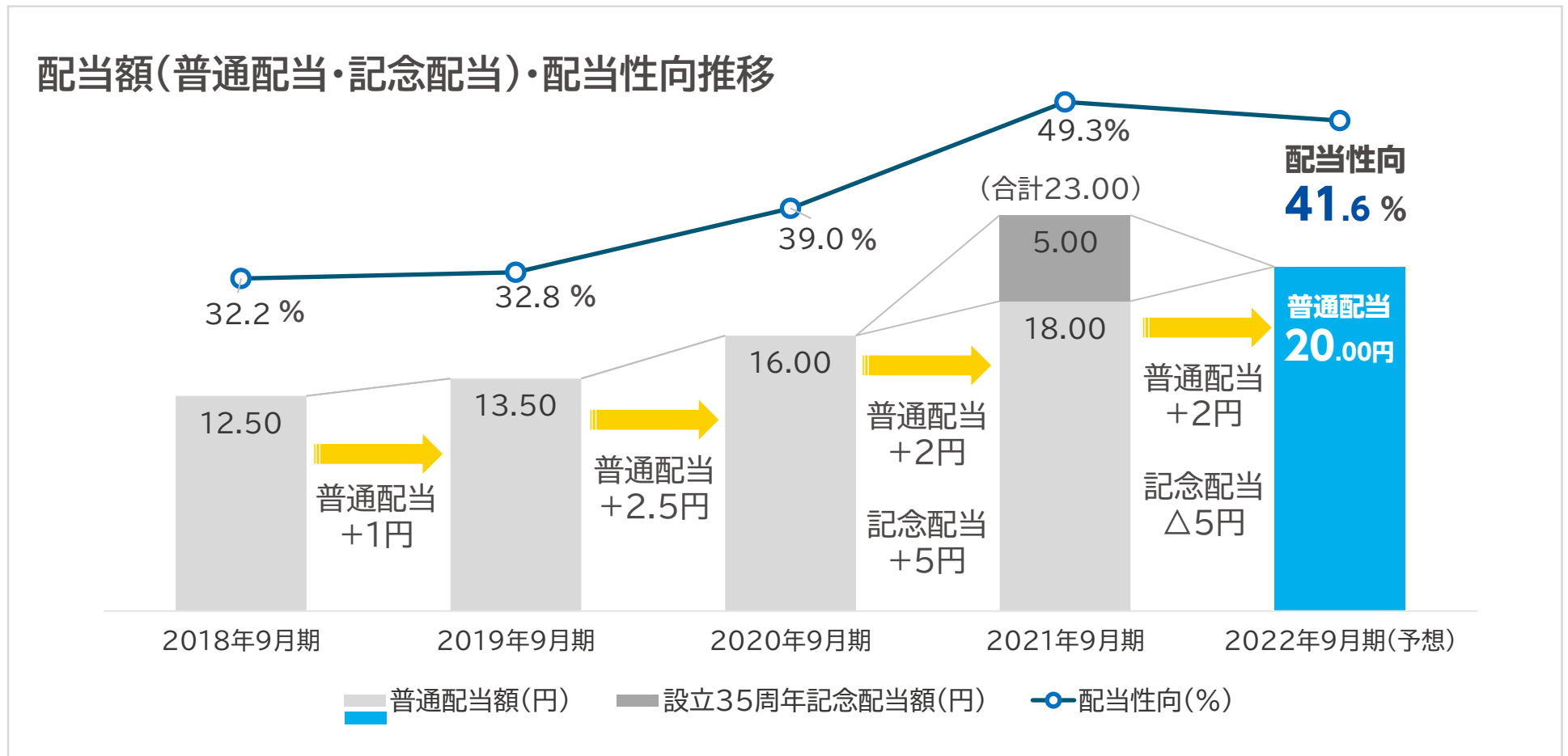


※ 業績の上方修正後の数値で記載しています。【参考資料】 [2022年5月9日「業績予想の上方修正のお知らせ」](#)

※ 昇給、賞与引当金を例年よりも高い水準で計上した上で業績修正を行っております。

2.2) 配当と株主還元

2022年9月期 1株当たり配当金 **20円00銭/株**
普通配当ベースでは**2円増配・4期連続増配**予定



※ 2021年9月期は設立35周年を記念し、18円00銭の普通配当に加えて、5円00銭の記念配当をいきました。

※ 2018年4月1日付で1株につき2株の割合で株式分割、2019年1月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。過去の1株当たり年間配当額は、当該株式分割を考慮して算出しております。



1. 2022年9月期 第1四半期決算概況



2. 2022年9月期 業績予想



3. 事業の成長戦略



4. 参考資料

3.1) 経営理念・経営スローガン

経営理念

広く経済社会に貢献し続ける

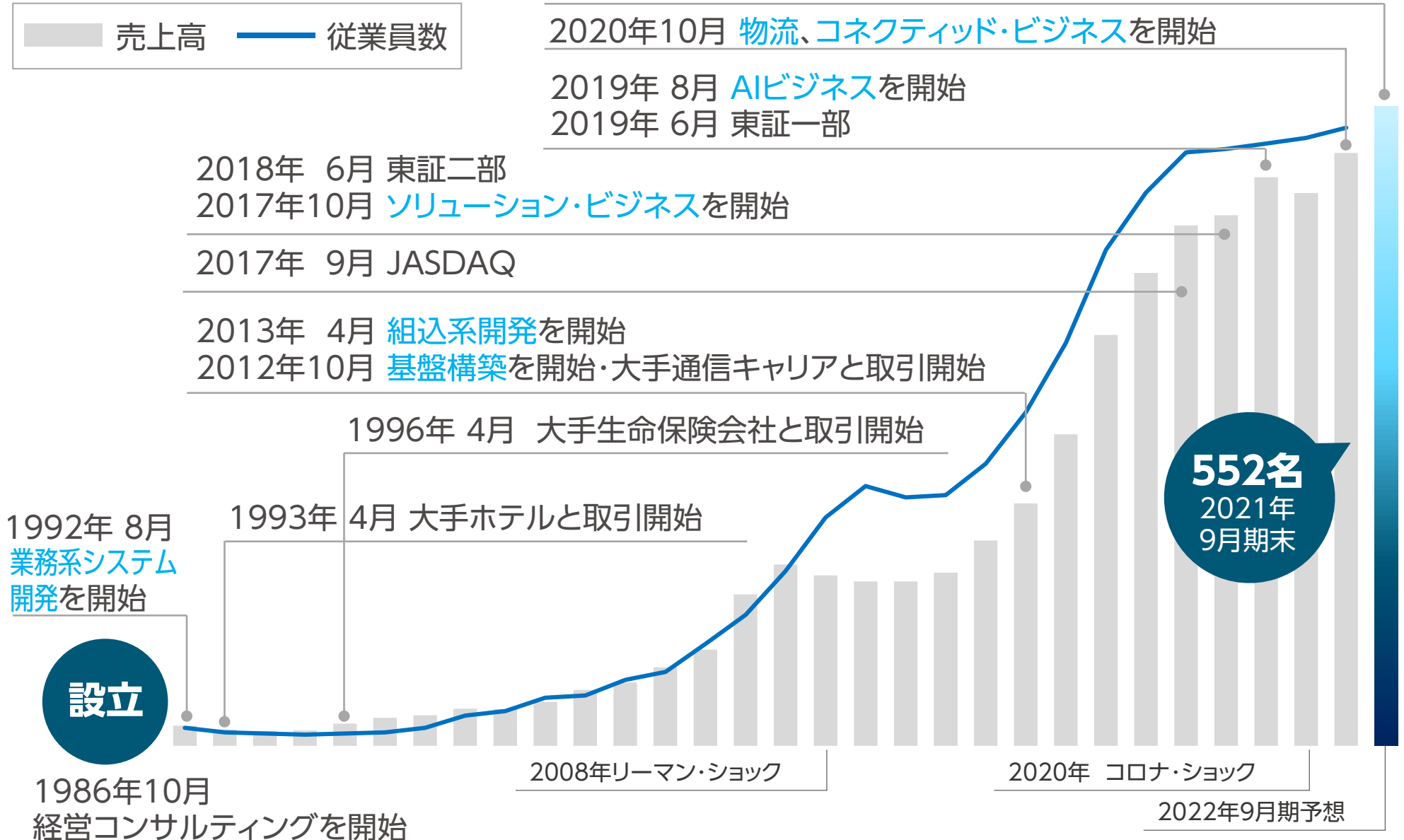
経営スローガン

Try & Innovation

常に進化するニーズウェルは挑戦と革新を掲げ
広く経済社会に貢献し続けます



3.2) 成長の軌跡



3.3) 中期基本方針

派遣型ビジネスからの脱却、

そして**真のシステムインテグレータ**へ

3.4) 3つの強み

金融系システム 開発力

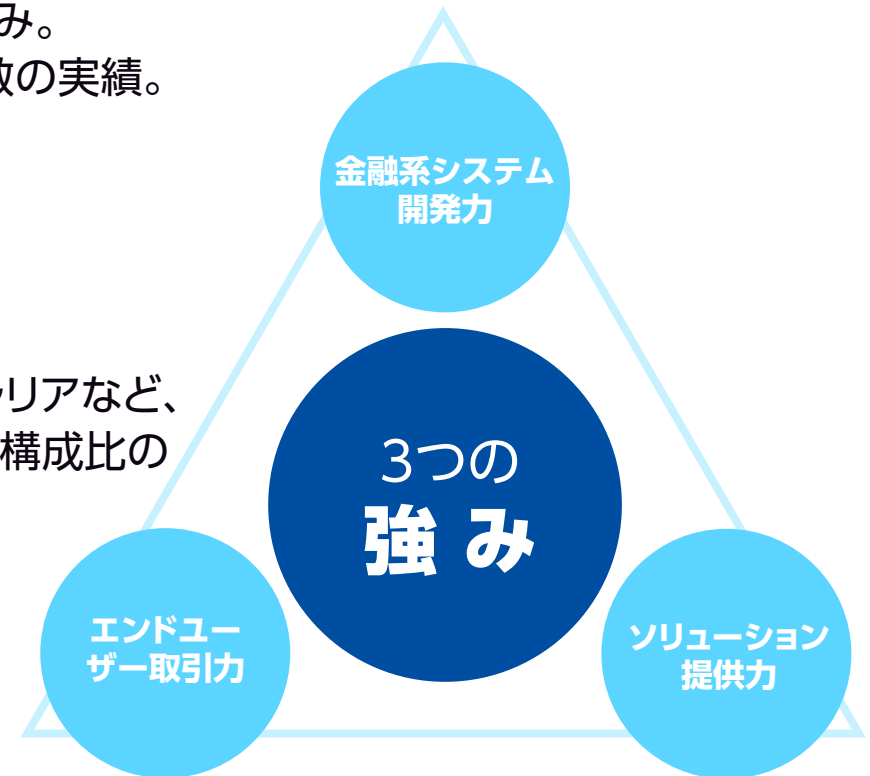
主力の業務系システム開発では金融系が売上高の約50%。
中でも**生命保険・損害保険分野**に強み。
銀行・クレジットカード・証券でも多数の実績。

エンドユーザー 取引力

生命保険会社・大手ホテル・通信キャリアなど、
エンドユーザーとの直接取引が売上構成比の
50%超と高水準。

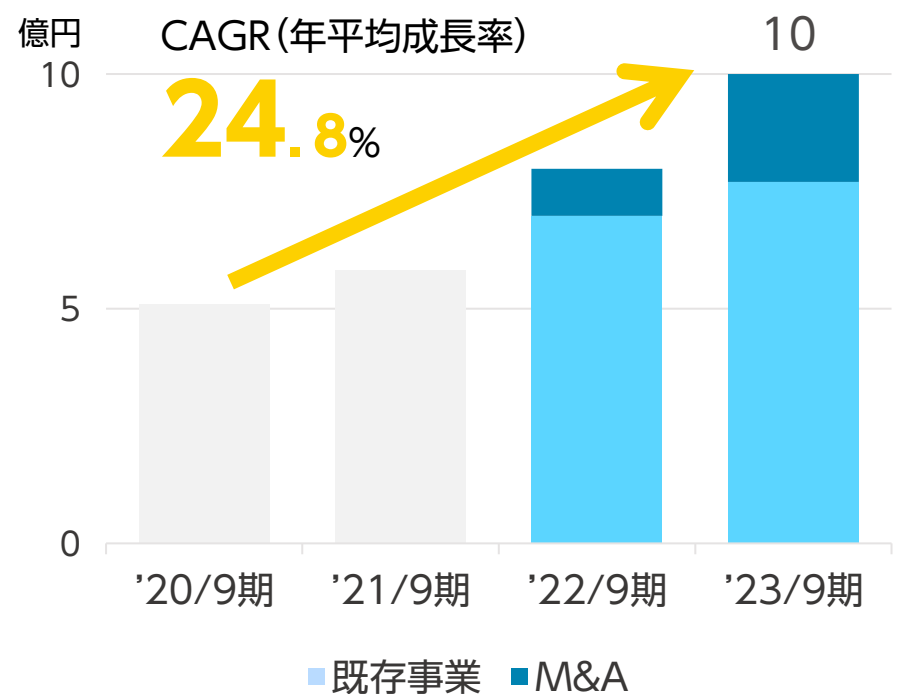
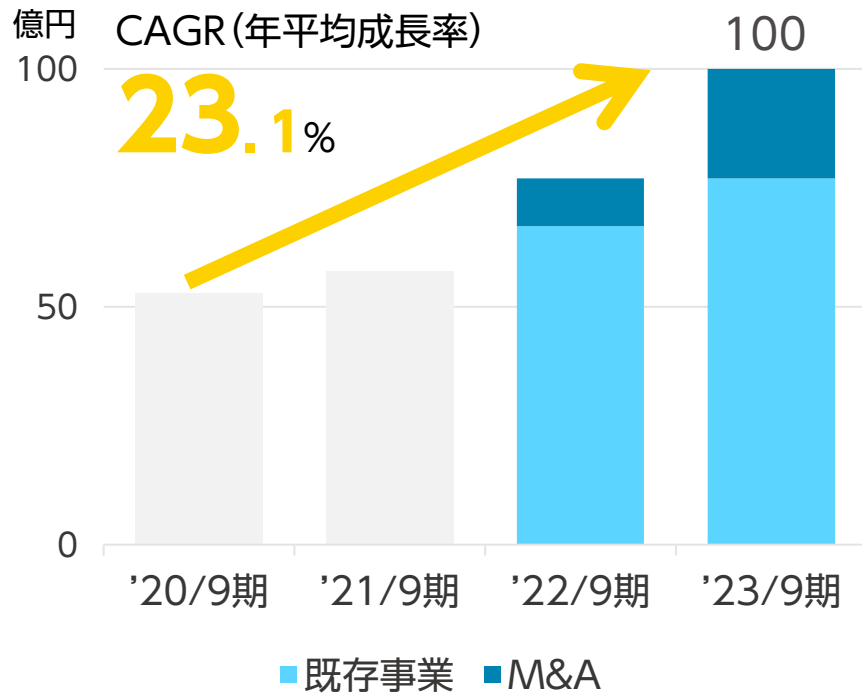
ソリューション 提供力

5G関連、AI、RPA、テレワークなど
顧客のビジネスの目的に合わせた最適な
ソリューションサービスを提供。



3.5) 中期経営計画 ①業績目標

2023年9月期



3.5) 中期経営計画 ②売上拡大

市場規模(当社予測)



物流ビジネス

多様化するニーズが高まる一方、担い手不足が深刻な物流業界。AIやIoTを活用した合理化・高品質化・環境負荷低減が急務で投資需要高い。

コネクティッド・ビジネス

IoTやAIの活用で街全体を効率化し便利に住みやすくするスマートシティ等、生活を豊かにするコネクティッド技術にも取り組む。

ソリューション・ビジネス

DXへの構造改革で投資需要高い。AI、RPAを活用した連携機能等で独自に差別化した製品を投入。

M&A、資本業務提携

既存技術の規模拡大と、新規技術の補強・参入。物流、コネクティッド、AI、IoT、Web等を重点的に探索

+12億円

+3億円

+9億円

+23億円

既存事業

24億円

M & A 等

23億円

100億円

2023年
9月期

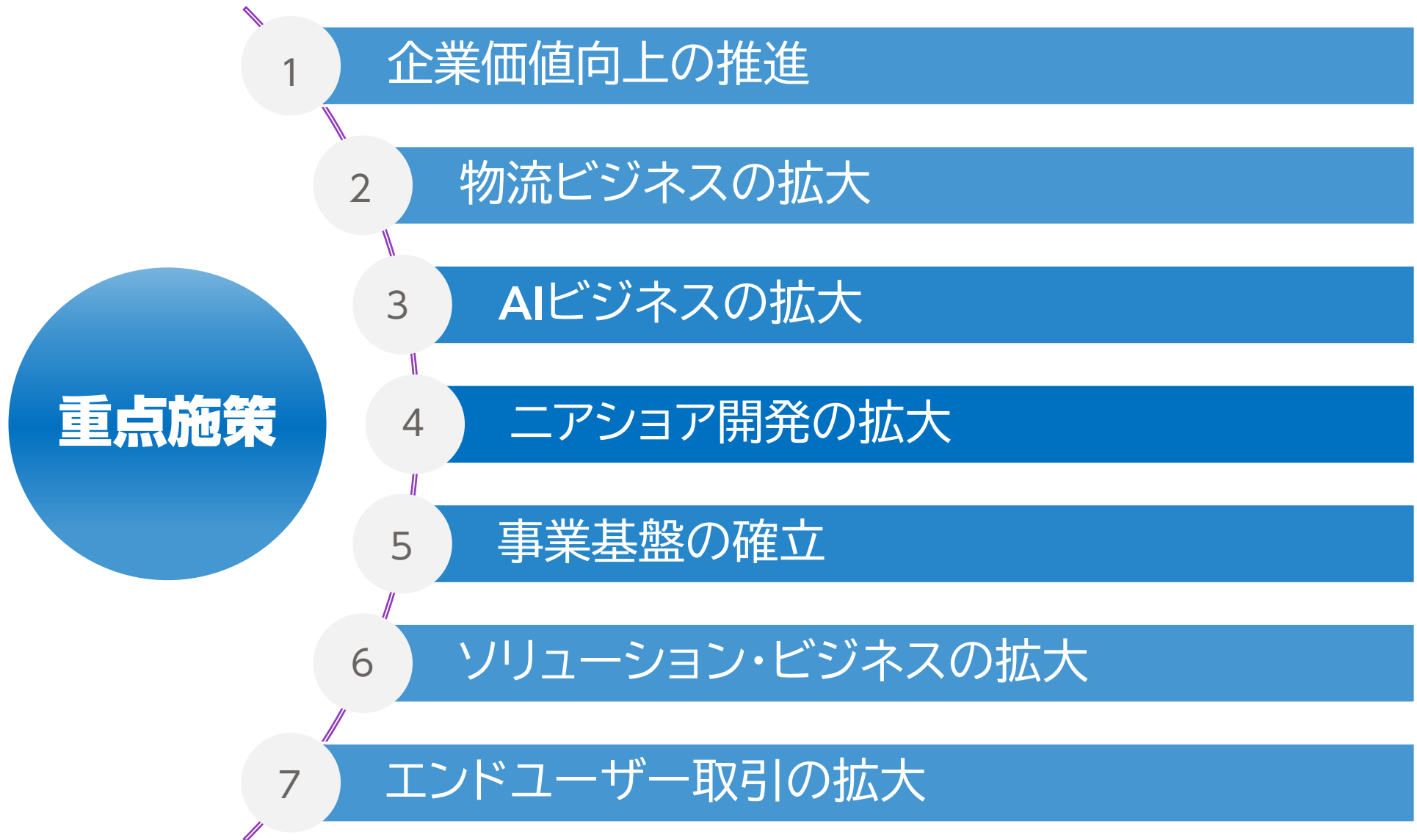
売上拡大

+47億円

53億円

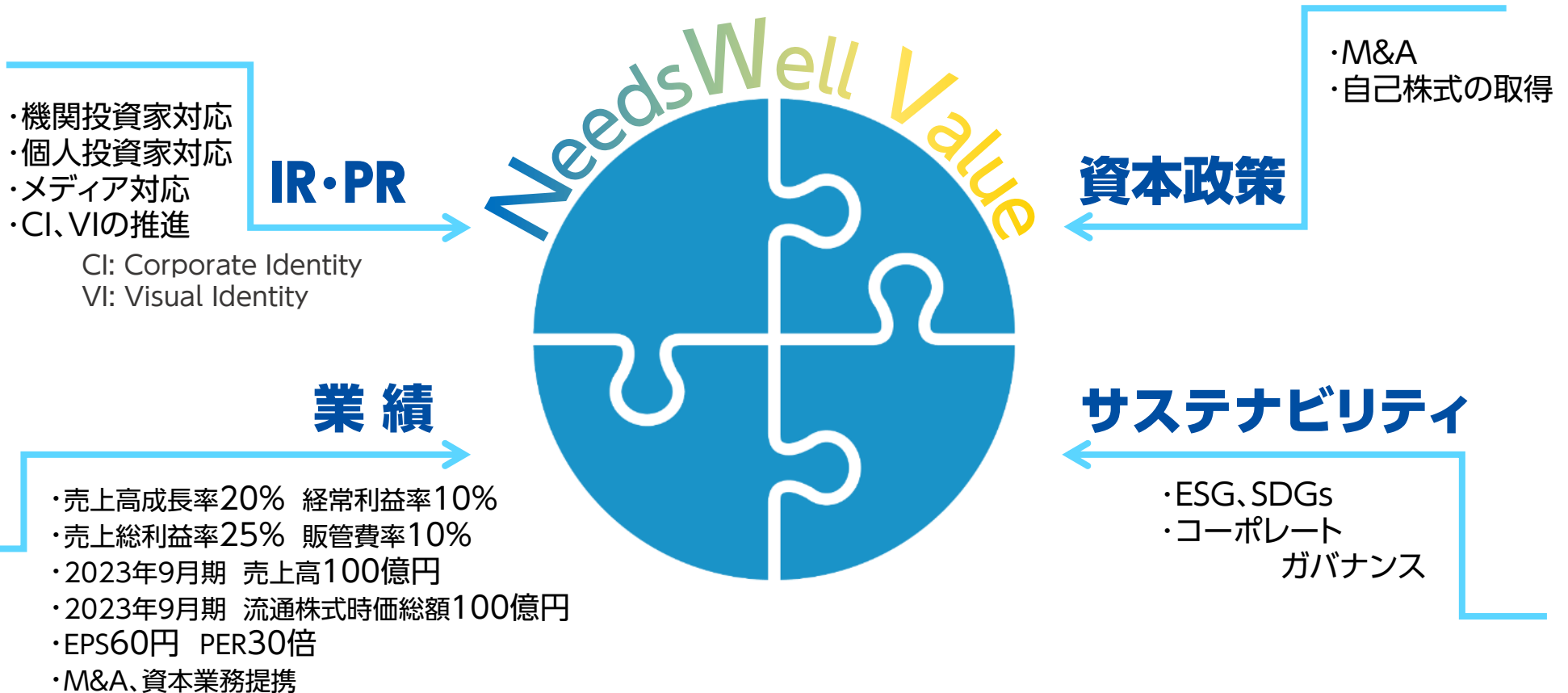
2020年
9月期

3.6) 重点施策



3.6) 重点施策 ① 企業価値向上の推進 i

経営理念 **NeedsWell Value**の向上により
広く経済社会に貢献し続ける を推進



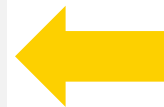
3.6) 重点施策 ① 企業価値向上の推進 ii

東証市場再編において**プライム市場**を選択
(2022年4月)

上場維持基準への適合に向けた計画書に基づき、企業価値を向上し、
2023年9月末までに全ての基準の達成をめざしています。

企業価値向上により**流通株式時価総額**を向上

上場維持基準 (プライム市場)	当社の 適合状況
流通株式時価総額	×
株主数	○
流通株式数	○
流通株式比率	○
1日平均売買代金	○



定量的
アプローチ

i. **業績拡大**による
経営指標数値の向上

ii. **資本政策**による
流通株式比率等の向上

定性的
アプローチ

iii. **IR・広報活動の強化**に
よる理解と認知の向上

iv. **サステナブル経営**による
社会価値の向上

自己株式の取得

当社は、当社の現在の株価は**利益水準を鑑み割安**であると考え、2022年2月より**200**百万円を原資として自己株式を取得しています。

目的

- ・ **株価とEPSの改善**
- ・ **経営環境の変化に応じた機動的な資本政策の実行**

2022年4月30日時点の進捗状況

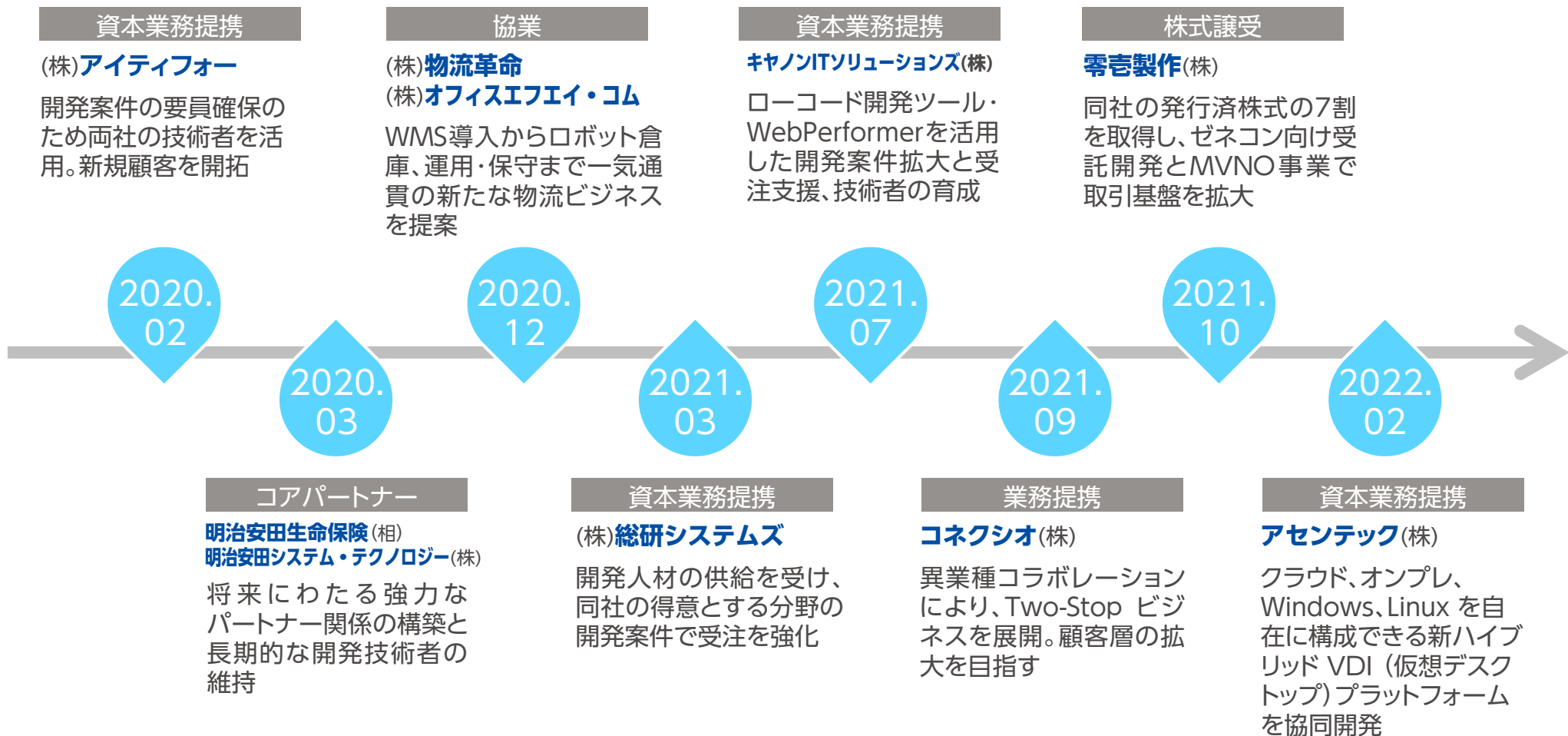
累計取得自己株式数 **251,300株**(進捗率73.91%)

累計約定金額 **163**百万円(進捗率81.57%)

1	取得対象株式の種類	普通株式
2	取得し得る株式の総数	340,000株 発行済み株式総数(自己株式を除く)に対する割合3.3%
3	株式の取得価額の総額	200,000,000円(上限)
4	取得期間	2022年2月14日～2022年8月12日
5	取得方法	東京証券取引所における市場買付け

3.6) 重点施策 ① 企業価値向上の推進 iv

M&A、資本業務提携等、協業関係の構築を積極的に推進
販路、受注、製品、技術者の拡充で成長路線へ



3.6) 重点施策 ② 物流ビジネスの拡大

ネット社会のニーズが高まり、
担い手不足が深刻な**物流倉庫の課題**をITで解決

倉庫管理システム  Smart WMS が 3つのSmartを実現

省人化・ ペーパーレス化

- ハンディーターミナルの活用により、現場のオペレーションを改善
- 倉庫内の一連の作業をペーパーレス化
- ロボットとの連携

課題が見える化

- 高度な分析機能で生産性を向上
- 倉庫内の人員配置を最適化
- 配送車の積載率向上



操作性の高い システム

- 操作性を統一し入力ミスを防止
- 検索項目を担当者ごとに自由に設定可能

WMS導入からロボット倉庫、運用・保守まで
(株)物流革命、(株)オフィスエフエイ・コムとの協業で**迅速対応**

3.6) 重点施策 ③ AIビジネスの拡大

Work AIのラインナップ拡充によりAIビジネスを拡大

※ Work AIは、当社がAIやRPA等のノウハウを活用し企業のDXを支援するために開発する業種別AIソリューションの総称です

Work AI



AIリモート教育 Speak Analyzer

ビジネスシーンのトークを数値やグラフで定量的に見える化。成績上位者のモデルと比較してAIが改善点をフィードバック。



部材の概算見積りをAIが自動化 Es Prophetter

過去の見積実績データを機械学習し概算見積価格を算出。見積精度の向上と、見積時間の短縮を実現。

さまざまな業種のDXを推進

その他の業種

公共社会インフラ業

流通業

情報通信業

製造業

建設・建機業

金融業

物流業

3.6) 重点施策 ④ ニアショア開発の拡大

2024年9月期 長崎開発センター100名体制をめざす

ニアショア拠点の活用で優秀な人材の獲得と人材不足の解消

ニアショア活用

- ・持ち帰り案件によりニアショア開発体制を拡大
- ・派遣型・常駐型からの移行を進めニアショア開発を標準化

人材獲得

- ・地元志向の強い優秀な技術者を採用し育成
 - ・ 地元大学からの採用
 - ・ Uターン、Iターン採用



3.6) 重点施策 ⑤ 事業基盤の確立

上場企業として

将来まで安定した発展を遂げる事業基盤を確立

業務系システム開発

- ・ 業務知識の蓄積とハイスキルの技術者の育成により、**金融**分野を拡大
- ・ 新たに**物流**分野を開拓

基盤構築

- ・ **業務系システム開発と連携**しトータル受注

コネクティッド開発

- ・ 自動車、医療機器分野に加え**コネクティッド**技術を強化

▶▶ サービスライン構成

事業基盤を確立する
サービスライン

業務系システム開発

基盤構築

コネクティッド開発

+

事業拡大・付加価値向上を
加速するサービスライン

ソリューション・
商品等売上

3.6) 重点施策 ⑥ソリューションビジネスの拡大

事業拡大・付加価値向上を加速する ソリューション・ビジネスを拡大

売上高構成比目標 2023年9月期 **15.0%** (2021年9月期実績10.8%)

拡大戦略

✓ 自社ソリューション  **ITリエンジニアリング** を中核とし、DXを提供
IT Re-engineering Service

社内システムの運用改善コンサルティング
ERPを中心に、**周辺システムを連携**

- ・ 電子契約、電子承認の導入による生産性向上
- ・ 電子帳簿保存法改正に向けた経理部門のペーパーレス化
- ・ 総務業務、年末調整のペーパーレス化による生産性向上
- ・ セキュアなテレワーク環境構築
- ・ 複数システムのユーザー認証一元化による業務効率化



✓ 2025年の崖問題を支援する  **2025 Solutions** を提供

✓ RPAツール × ビジネスチャットツール連携ソリューションを提供予定

AIチャットボットでユーザーの問い合わせを受け付け、ユーザーの要望する処理・動作をRPAで起動

3.6) 重点施策 ⑦ エンドユーザー取引の拡大

受注安定化と収益性向上

エンドユーザー比率50%超を維持拡大

既存ユーザーの維持拡大

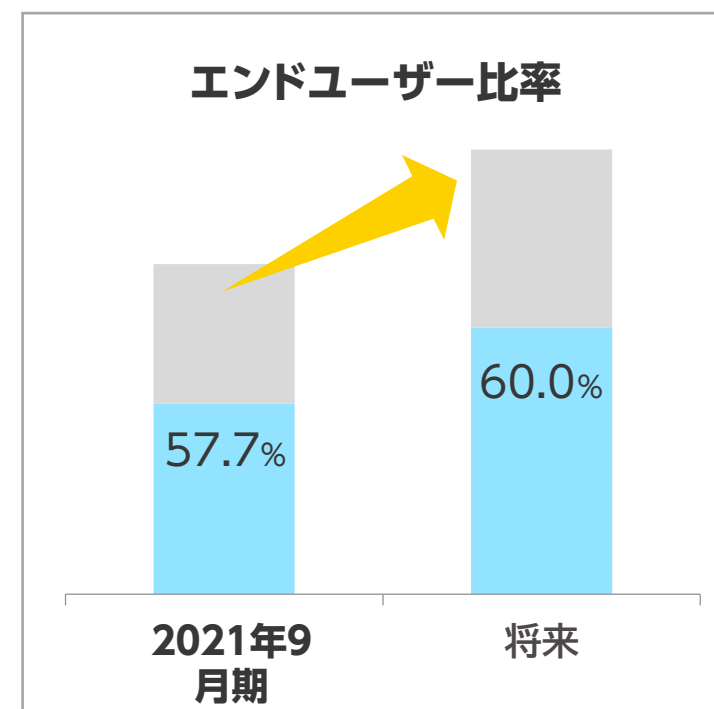
- ・ 継続案件の確保
- ・ ハイスキルの技術者を育成し担当分野の規模を拡大
- ・ 担当分野以外の開拓

新規ユーザーの開拓

- ・ 既存ユーザーと類似する会社へ
開発実績、業務ノウハウを紹介し横展開
- ・ 各種ソリューション製品を武器に開拓

ソリューション・ビジネス拡大による新規ユーザーの開拓

- ・ エンドユーザーへの販売比率が高いソリューション・ビジネスに注力





1. 2022年9月期 第1四半期決算概況



2. 2022年9月期 業績予想



3. 事業の成長戦略



4. 参考資料

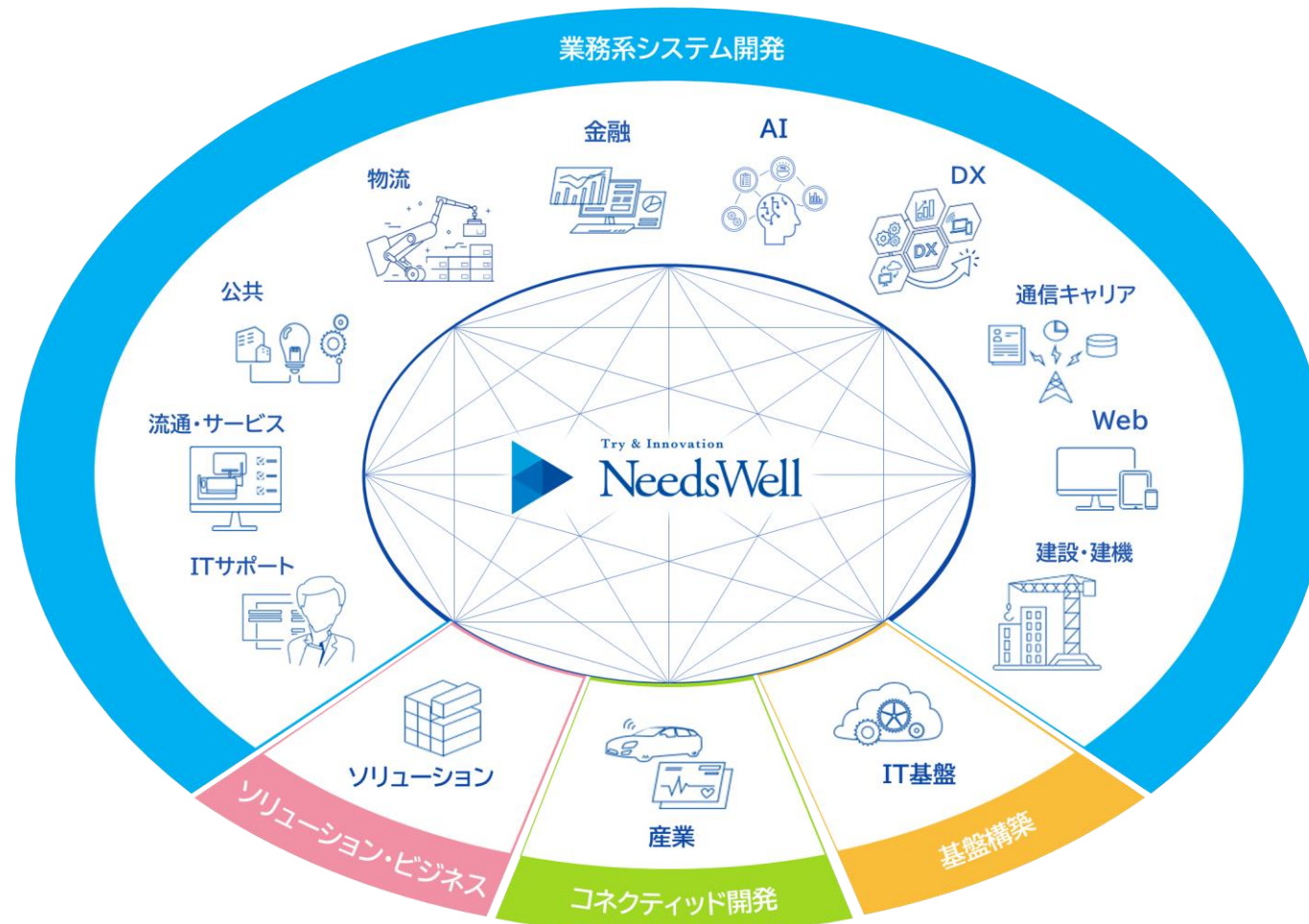
4.1) 会社概要

2021年9月末日現在

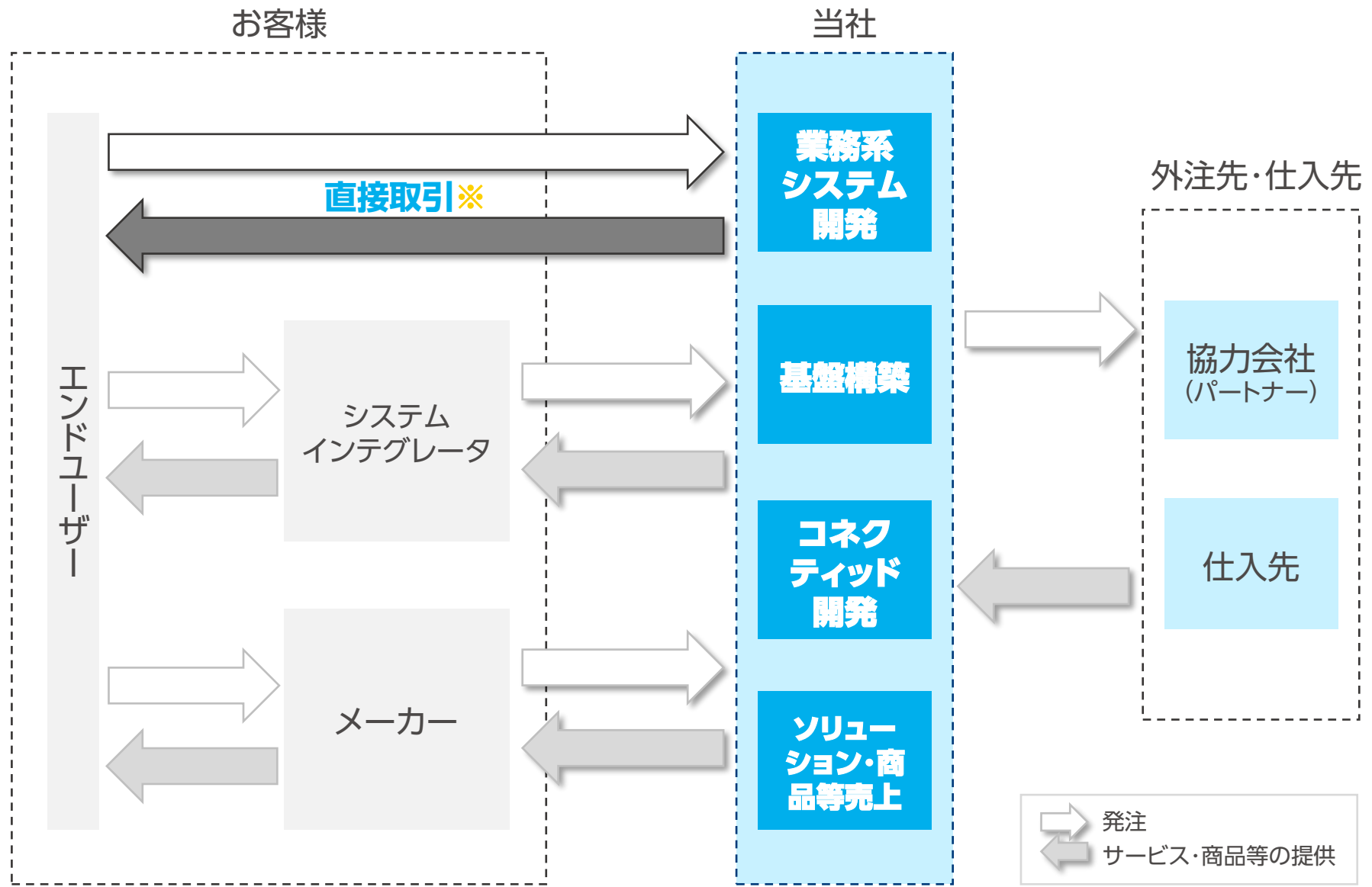
商号	株式会社ニーズウェル Needs Well Inc.		
本社	東京都千代田区紀尾井町4番1号 ニューオータニガーデンコート13階		
事業所	■ 新宿オフィス:東京都新宿区富久町13-15 サウスタワー5階 ■ 長崎オフィス:長崎県長崎市興善町2-21 明治安田生命長崎興善町ビル5階		
連絡先	TEL:03-6265-6763(代) FAX:03-6265-6764		
代表者	代表取締役社長 船津 浩三		
設立年月	1986年10月	上場市場	東証プライム(証券コード:3992)
資本金	9億7百万円	売上高	57億52百万円
従業員数	582名 2022年4月末日現在	決算期	9月
資格	労働者派遣事業 プライバシーマーク使用許諾認定	ISO27001 (ISMS) 認証 ISO9001 (QMS) 認証	
役員 2022年4月末日 現在	代表取締役社長 船津 浩三	取締役 柳川 洋輝	社外 独立
	取締役常務執行役員 後藤 伸応	取締役 坂上 秀昭	社外 独立
	取締役執行役員 秋山 恵穂	取締役 安岡 護	社外 独立
	取締役執行役員 篠原 和広	監査役 加藤 和彦	
	取締役執行役員 松岡 元	監査役 丹羽厚太郎	社外 独立
		監査役 佐藤 茂	社外 独立

4.2) 事業領域

ニーズウェルは**金融**向けの**業務系システム開発**を中心とした4つのサービスで、**ITのトータルサービス**を提供しています。



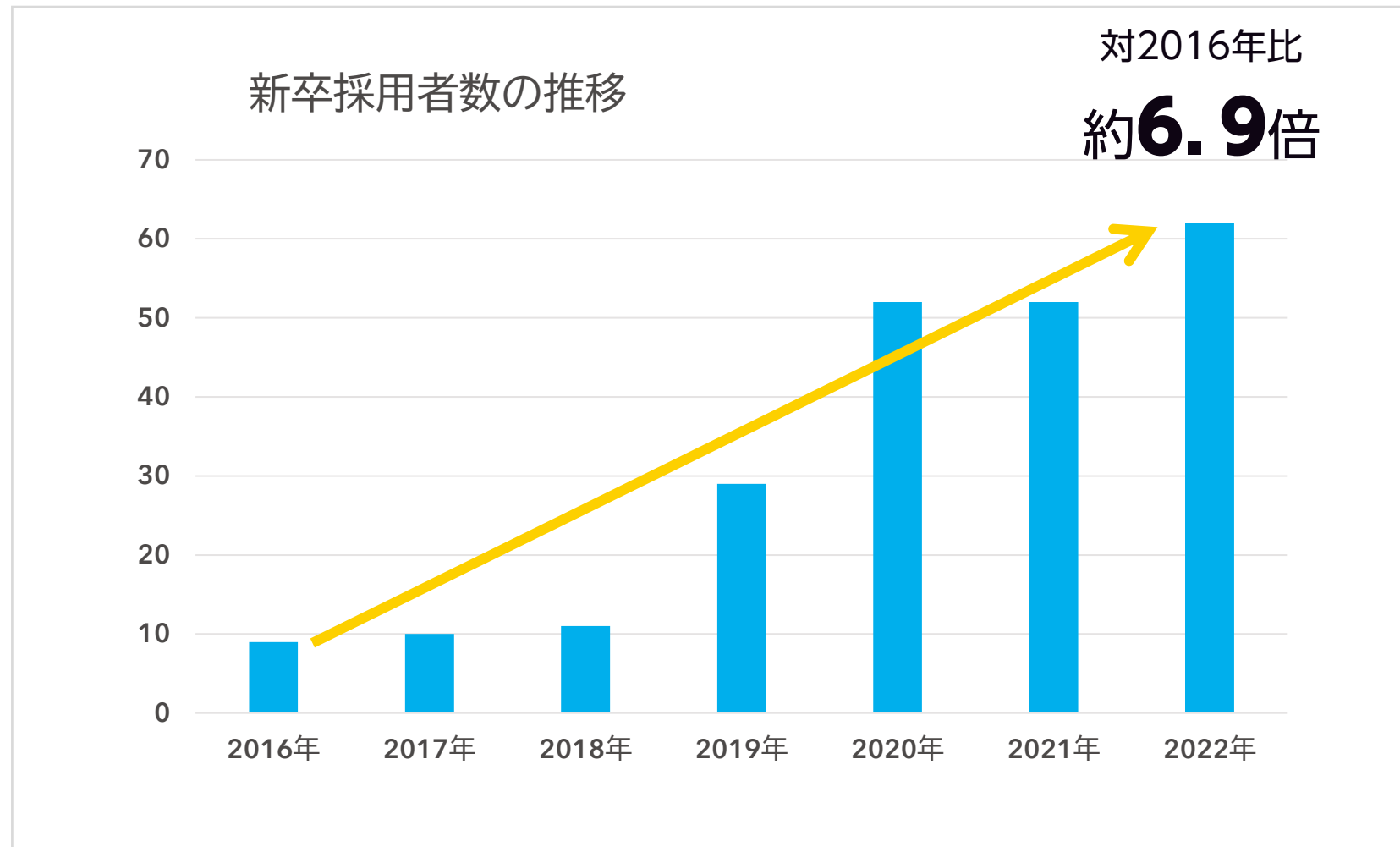
4.3) 事業系統図



※**エンドユーザーとの直接取引** は売上全体の **57.7%** (2021年9月期末)と高水準

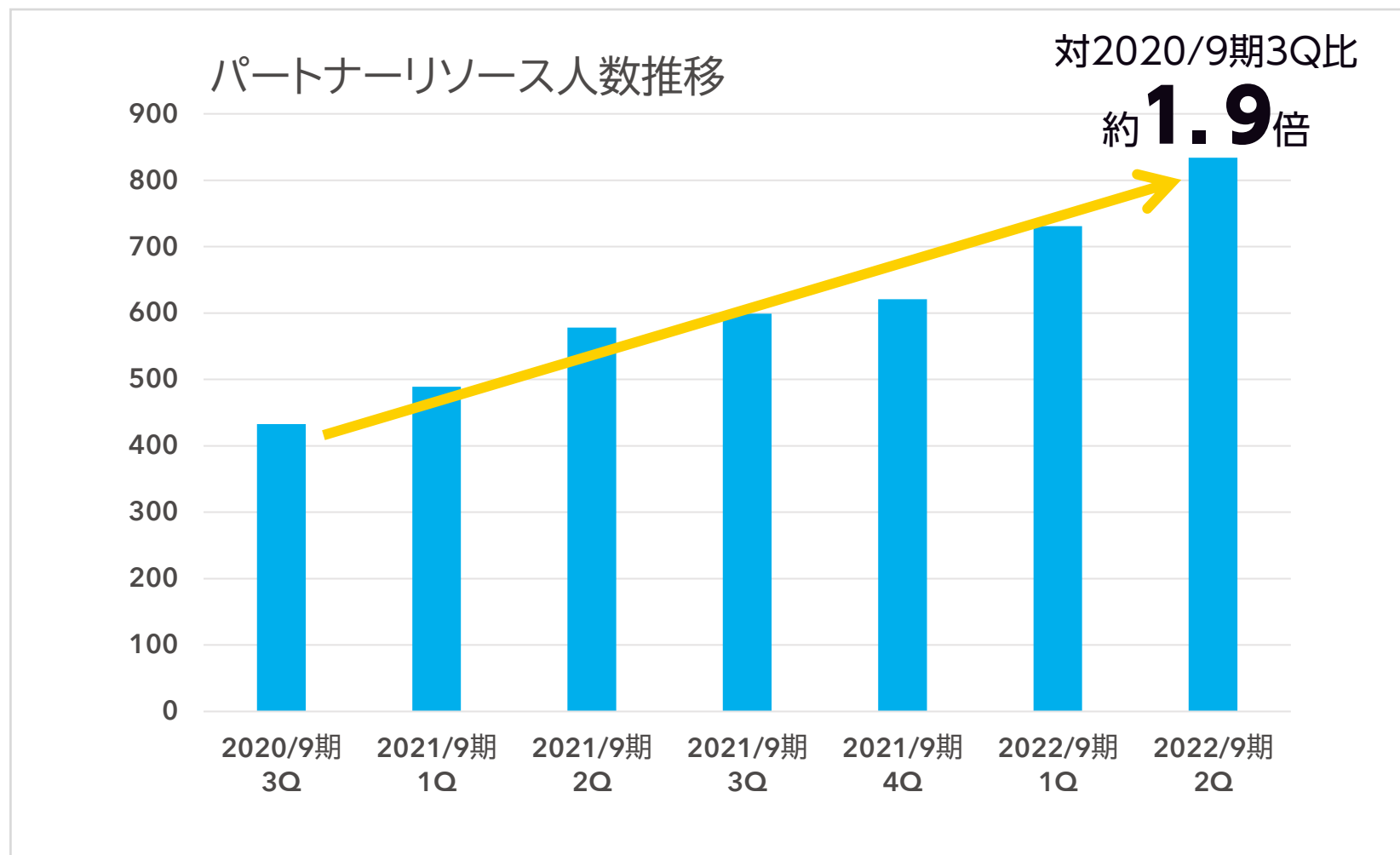
4.4) 人材育成 ①新卒採用の強化

新卒採用を採用し、プロフェッショナル人材を育成
企業理念・文化の継承、エンゲージメントの向上をめざす



4.4) 人材育成 ②パートナーとの連携強化

コアパートナーとの連携強化により両社の発展・共存共栄をめざす
戦略の共有／長期的な信頼関係／安定的な取引



4.5) ESG・SDGs ①事業と直結する取組み

ESG・SDGsの視点を取り入れた事業戦略で**サステナブル経営**をめざす

■ ニアショア開発促進:長崎開発センターを2024年までに100名体制に

ニアショアを活用したリモート開発体制でQCD(Quality:品質、Cost:費用、Delivery:納期)にコミットメント。リモート開発環境整備により開発を促進。

2024年までに長崎開発センター100人体制を目指す。
地方の優秀な人材の活用で**産業基盤と技術革新、雇用の創出による豊かな街づくり**に貢献。

長崎県SDGs登録制度の第1回登録事業者に認定。



■ DXをアシストする新たなソリューションの開発

ITリエンジニアリングサービスは、RPAやローコード開発ツールの活用によるデータ連携で実現する作業の省力化、AI技術を利用したプラットフォームの構築、データ分析等、顧客企業のDXの実現・推進をアシスト。

デジタル社会の産業基盤の構築に貢献。

■ パートナーシップの推進による事業成長

グループ企業、受注先・仕入先企業とのパートナーシップを推し進め、ともに永く発展できる体制をめざす。
販路、受注、製品、技術者の拡充でシナジー効果を発揮。



4.5) ESG・SDGs ② 制度や支援活動から支える取組み

■ 働き方改革・人材育成

- ・有給取得奨励日、プレミアムフライデー、残業低減等によるワークライフバランスの推進
- ・テレワークの対象者を拡大、活用による生産性向上
- ・スキルやモチベーションを引き出す制度

■ 女性社員・管理職比率向上

女性管理職比率目標30%、女性社員比率目標30%

■ 学生向けAI教育

学生向けにAIプログラミング体験や、5日間・3週間のインターンシップを開催
電子申請アプリや AI チャットボットのプログラミング教育、WinActor (RPA) による学校業務の効率化、味覚データ分析等を実施(2020年・2021年)

■ 長崎県ふるさと納税

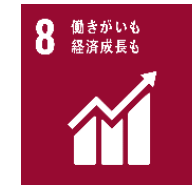
長崎県立大学において産学連携の拠点を整備し高度専門人材の育成と県内産業の振興をめざす「Society5.0へ向けた次世代人材創造プロジェクト」(企業版ふるさと納税制度)を支援

■ サッカーJリーグ V・ファーレン長崎を応援

スポーツ文化の振興、地域の活性化を目指しサポーターとしてスポンサー契約

その他の取組みや詳細はこちらからご覧いただけます。

<https://www.needswell.com/ir/sdgs>



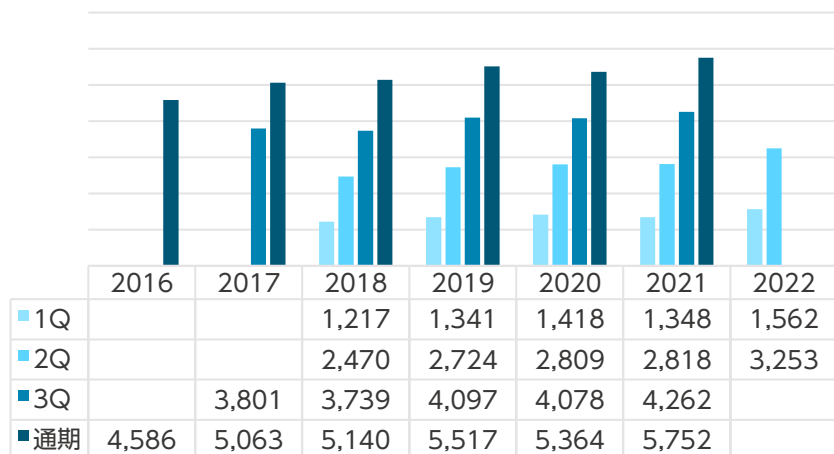
4.6) 主なプレスリリース

日付	種類	
2022-05-12	適時開示	2022年9月期(第36期)第2四半期決算説明資料(日本語版・英語版)
2022-05-12	適時開示	2022年9月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)・2022年9月期第2四半期報告書
2022-05-10	適時開示	自己株式の取得状況に関するお知らせ(会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得)
2022-05-09	適時開示	業績予想の上方修正に関するお知らせ
2022-05-09	PR情報	2022年9月期第2四半期決算説明会ウェビナー開催のお知らせ
2022-05-09	PR情報	ログミーFinance主催第35回個人投資家向けIRセミナー(5月21日(土)開催)への参加のお知らせ
2022-04-26	PR情報	Concur Invoice Standard対応版 請求書自動登録システム Invoice PA-Sの提供を開始
2022-04-25	PR情報	ニーズウェルの請求書自動登録システム「Invoice PA」SAP Concur App Center パートナーとして提供開始
2022-04-15	PR情報	テレワークの通信手段に最適 データ通信に特化した格安SIMの提供を開始
2022-04-05	PR情報	自己株式の取得状況に関するお知らせ(会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得)
2022-04-04	PR情報	中小企業のDXが直面するIT人材不足をリモートでサポート。システムやアプリケーションの運用保守・ヘルプデスク対応を開始
2022-04-04	PR情報	東証新市場区分「プライム市場」への移行に関するお知らせ
2022-03-30	PR情報	見積業務を効率化するAIソリューションEs Prophetterを開発
2022-03-15	PR情報	組織変更並びに人事異動に関するお知らせ
2022-03-15	適時開示	取締役の辞任に関するお知らせ
2022-03-03	適時開示	自己株式の取得状況に関するお知らせ(会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得)
2022-03-01	PR情報	RPAと仮想デスクトップツールの連携で運用を最適化・効率化「WinActor リモートPCアレイ」
2022-02-18	PR情報	個人投資家向けIRセミナー「プレミアムブリッジサロン」登壇のお知らせ
2022-02-16	PR情報	Concur Japan Partner Award 2022でインプリメンテーションパートナーアワードを2年連続受賞

4.7) 業績推移①

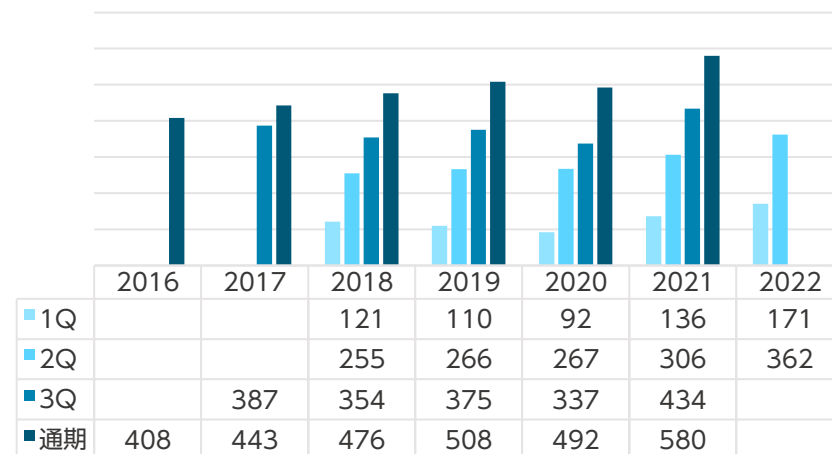
売上高

単位:百万円



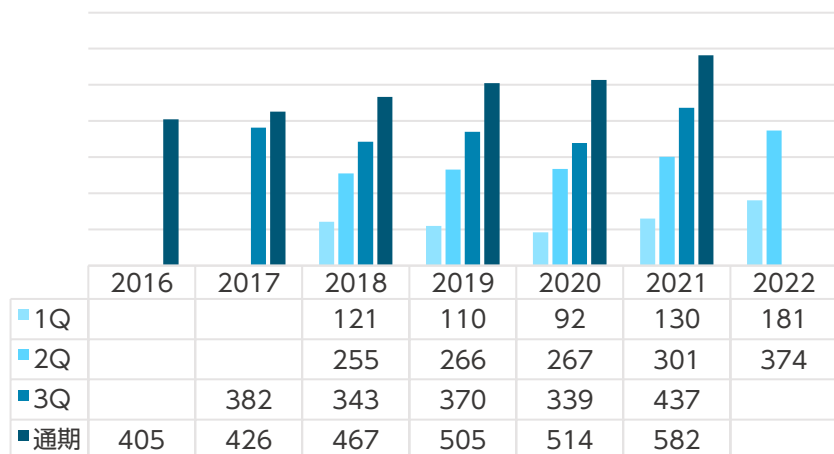
営業利益

単位:百万円



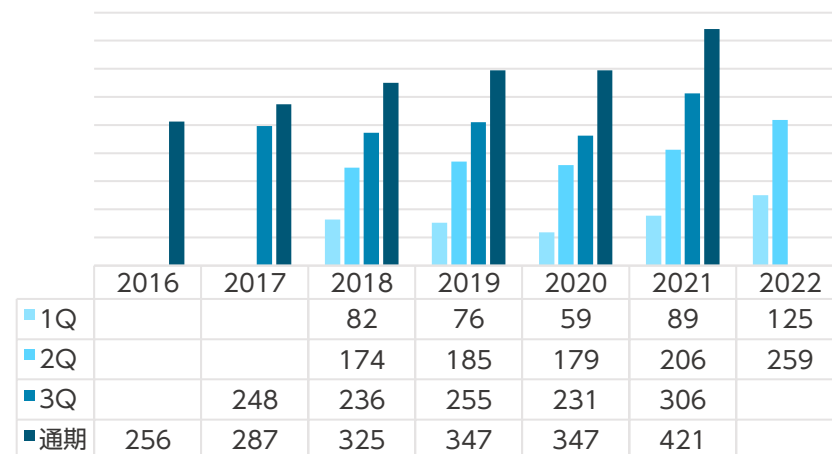
経常利益

単位:百万円



当期純利益

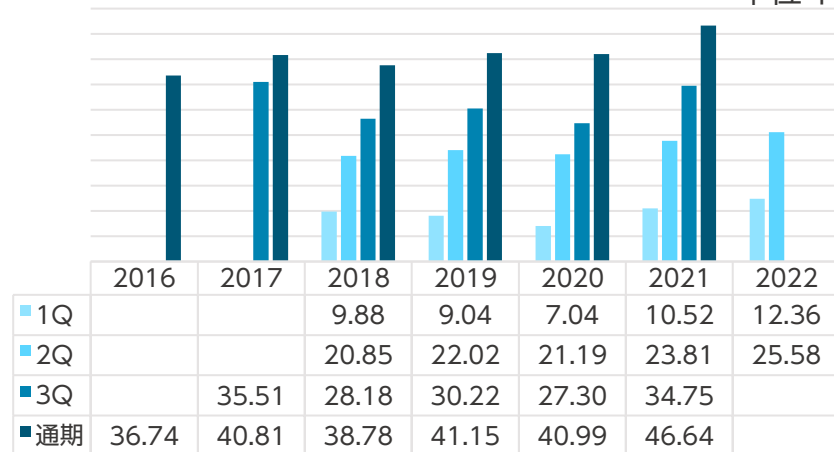
単位:百万円



4.7) 業績推移②

1株当たり当期純利益

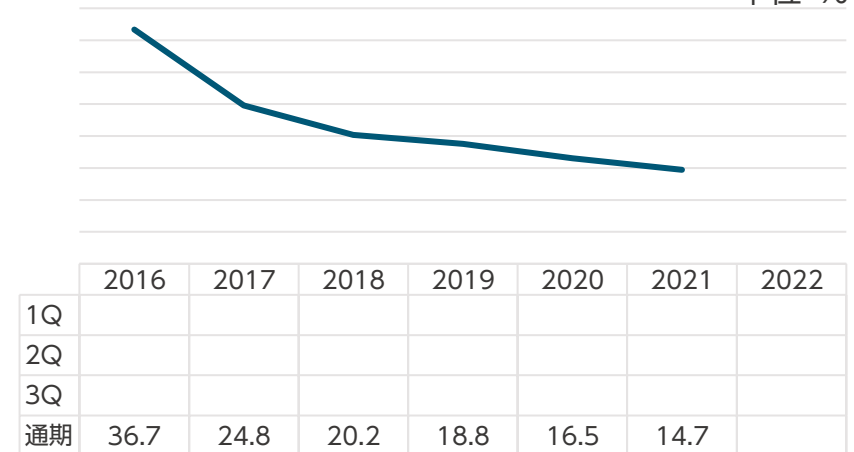
単位:円



■2017年5月12日付の100分割、2018年4月1日付の2分割、2019年1月1日付の2分割調整後の数値

自己資本当期純利益率

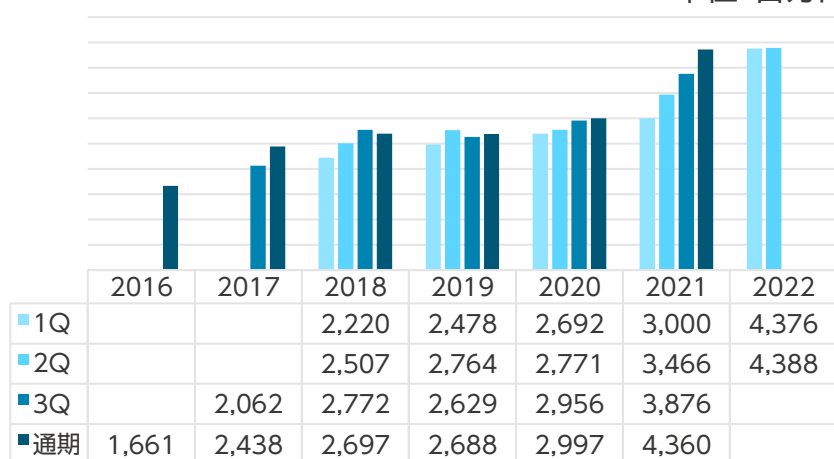
単位:%



■本指標は通期ごとに更新

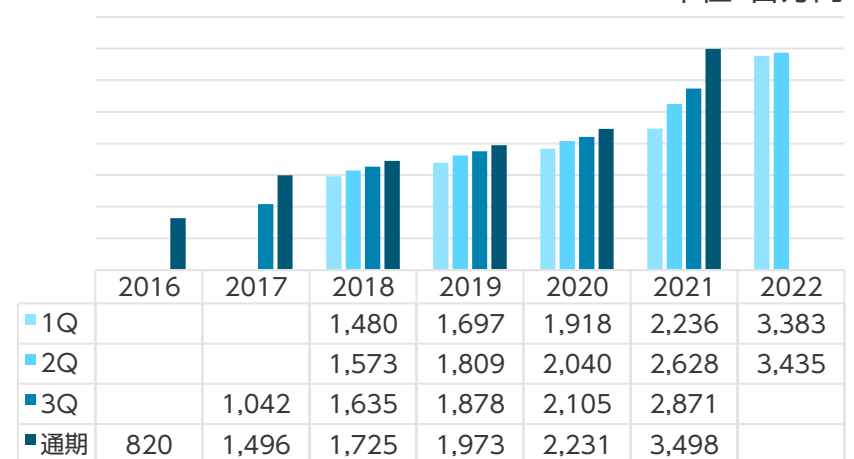
総資産

単位:百万円



純資産

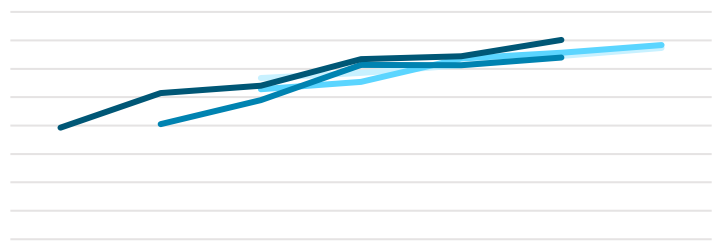
単位:百万円



4.7) 業績推移③

自己資本比率

単位:%

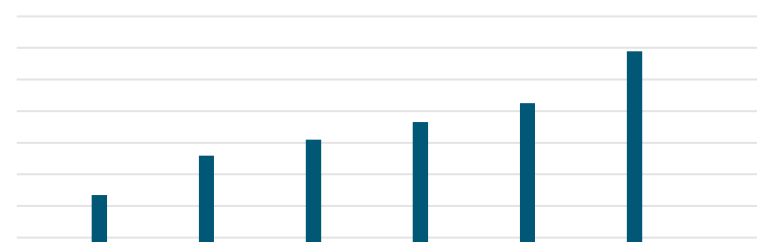


	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1Q			66.7	68.5	71.3	74.5	77.3
2Q			62.8	65.4	73.6	75.7	78.3
3Q		50.5	59.0	71.4	71.2	74.0	
通期	49.3	61.4	64.0	73.4	74.5	80.2	

- 第2四半期(2Q)は、第1四半期から第2四半期までの累計情報
- 第3四半期(3Q)は、第1四半期から第3四半期までの累計情報

1株当たり純資産

単位:円



	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1Q							
2Q							
3Q							
通期	117.21	179.63	204.99	232.63	262.41	344.60	

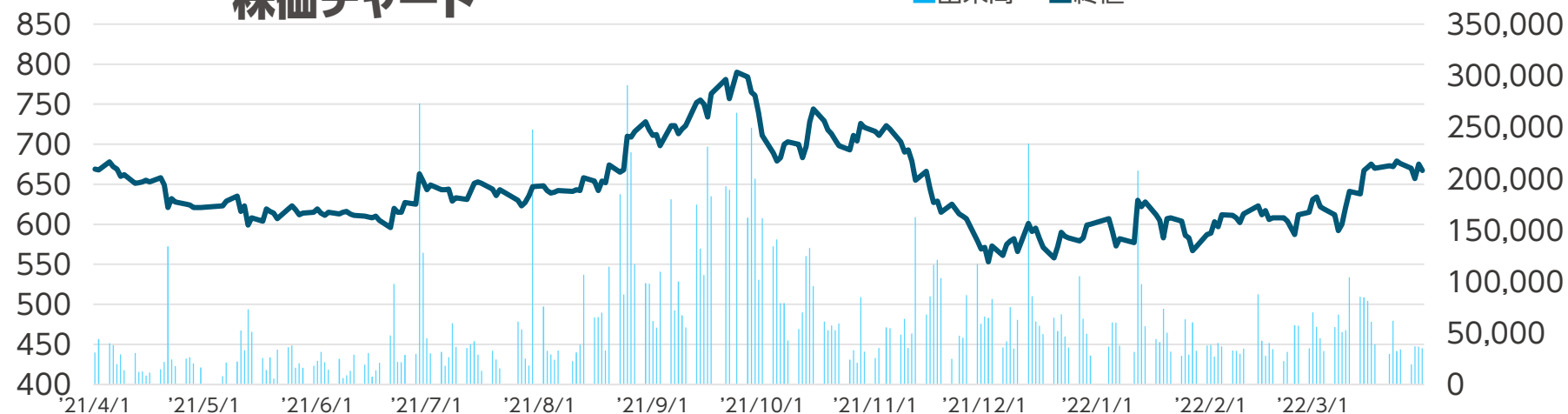
- 2017年5月12日付の100分割、2018年4月1日付の2分割、2019年1月1日付の2分割調整後の数値
- 本指標は通期ごとに更新

株価チャート

株価:円

■出来高 ■終値

出来高:株





NeedsWell

Try & Innovation

- 本資料に記載されている将来の業績に関する予想、計画、戦略などは、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。
- 実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

株式会社ニーズウェル CC室 e-mail:ir-contact@needswell.com